

入会の ご案内



やまなし三女祭の会

豊かな人生を共に...

山梨県には全国に誇る偉大な三人の女性が各時代毎に輩出されておりました。

明治の大作家 樋口 一葉

大正の革命的思想家 金子 文子

昭和の社会改良運動家 望月 百合子 の三人です。

私たちはこうした先輩の偉業に対し、仲間と共に学び、
私たちもより豊かな人生を明日に向かって開きたいと
この会を結成しました。会は一人でも多くの仲間が参加され、
祭りのように楽しい会にしたいと希望しております。

「やまなし三女祭の会」発起人 講師 清水 昭三（作家）

●「やまなし三女祭の会」主な活動

三女の功績を偲び、その人生観や著書をとおして
有意義な学びを進めていきます。

- ◎ 講師による、講義聴講
- ◎ 朗読会(みんなで群読)
- ◎ 観劇研修(三越劇場) ※強制ではありません。
- ◎ 三女ゆかりの地、散策など

※ みんなで意見・情報を持ち寄り、協力し合いながら
作り上げていく会です。

★ 入会金 500円

★ 年会費 3,000円

お問い合わせ先

やまなし三女祭の会 庶務

若尾 080-6504-0250

(お問い合わせはショートメールでお願いします)

【やまなし三女祭の会】で、豊かな人生を共に...

大きく変わりゆく令和。

だからこそ今、山梨ゆかりの三女を学ぶことには大きな意義があります。

人生を、より豊かに幸せに生きていくための「智慧」がここには確かにあります。

共に、この会を育てていく仲間を募っています。



樋口 一葉

我が国、最初の女性職業作家

旧五千円札の肖像主としてその知名度の高さは、功績ゆえのこと。
貧困生活のなか、家族を支えながら、奇跡の十四ヶ月といわれる
短い期間に多くの代表作を書き上げる。

病に倒れ、24歳の若さで、この世を去る。

「わたしは、ひどく苦しみ、望みを失った人々を
文学でなぐさめるために生まれてきたのです」...一葉談



金子 文子

アナキスト ニヒリスト

無籍者として育ち、まともな教育を受けることもできず、周囲の大人たちから
虐げられながらも、「私自身を生きること」をあきらめることはなかった。
天皇に危害を加えようと企てたとして拘留。獄中手記「何が私をこうさせたか」
を残した。自らの志を貫き、獄中にて自死。不遇この上ない環境下
気高く、真っ直ぐに生き抜いた短くも尊い23年の生涯。



望月 百合子

女性解放運動家

評論家 歌人

読売新聞初の女性記者を経て渡仏。

帰国後、アナキスト系論客として、女性解放を訴え、講演、
翻訳家、歌人として華やかに活動。モガ(モダンガール)の先駆け。

1988/3 「限りない自由を生きて一望月百合子集」発刊

2001年 100歳の天寿を全うし逝去

やまなし三女祭の会に寄せて

今から28年前「たけくらべ」が教科書から姿を消すと知った時、一葉作品への取組みを始めました。

《伝えなければ、伝わりません》

黙読するには少々難しい文章を「解説を交えた朗読会」や「生演奏のコラボでのひとり芝居」で、
一葉作品を伝え続けております。

「花子とアン」山梨ことばを担当いたしましたしてドラマでは描かれなかった主人公 村岡花子氏と友人
市川房枝氏らの(一葉さんが6歳の時から叫ばれた)、女性が政治に参加する権利を得るための活動を
伝える必要を感じ「日本女性の参政権獲得の歴史書、権利の上に眠るな」を執筆いたしました。

「やまなし三女祭の会」での学びは、きっと現在の生活に新たな視点を発見できることと存じます。

「やまなし三女祭の会」特別講師 奥山眞佐子(女優 脚本家)

【やまなし三女祭の会】 入会申込書

★下記の必要事項をご記入の上、入会金 500円を
そえてお申し込みください

氏 名	
住 所	
T E L	
E-mail	

※ 保有個人情報に関しましては、
当会運営上必要な場合に限り
利用するものであり、外部提
供はいたしません。厳重に管
理保護いたします。

◆ 担当者名

TEL